

## 社会福祉法人 新城福祉会 苦情受付状況（2022年度）

2022年9月末まで

2022年10月1日現在

受付No.	時期	事業名	申出人	苦情内容	対策（結果）
1	5/13	レインボーのお菓子屋さん	利用者	帰りの送迎バス内で、運転手が大きな声で他利用者に対し、怒鳴った。「とてもびっくりして、怖かった」と訴えがあった。	当該職員へ聞き取りを行うと、マイクロバス運行中に、突然、席を立った利用者に対し、危険と判断したため、大きな声で注意を行ったということであった。当該職員に対し、「怖くて、驚いた」との意見があった事を伝え、今後、注意の際の声のトーンに気をつける事と、運行中は、運転に集中し、注意喚起は、添乗員に任せるよう指導。ご本人へ今回の経緯（危険が伴った事）、当該職員への指導説明を行い、納得される。
2	5/19	西部福祉会館	利用者 家族	9時前に利用受入れを頼んでいたが、事前の説明もなく一方的に「タイムケア」の請求を求められた。他の人は8時40分に送迎車を利用して事業所に到着しているのに不公平ではないか。そもそもタイムケアに関する事前説明が不十分ではないか。納得のいく説明をしてほしい。	施設長が、事業所の一方的な対応に不信感と不快感を抱かせてしまった事、タイムケアの説明が不十分であったこと、9時前から他利用者は送迎車を利用して到着している事実を認め謝罪するとともに、9時前に到着する送迎体制の説明を併せて行った。また、ご請求した料金を返金するとともにタイムケアに関する法人独自のパーソナルケアサービス事業について利用者全体に周知案内した。
3 new	9/16	居宅介護事業所 レインボーはうす	利用者	毎月の外出支援の日をヘルパーが勝手に決めているのはおかしい。 ドライブ（外出）の日は自分で決めたい。	ヘルパー支援の日を予約する申込書の記載が難しいため、居宅で配慮し、申込書を提出しなくても、毎月1~2回ドライブ（外出支援）の予定を組んでいたが、ご本人にとって、それが、「ヘルパーが勝手に決める」という気持ちになってしまったことに謝罪し、今後は他の利用者さんと同様にご本人にも申込書を提出してもらうこととした。既存の申込書では、ご本人には分かりにくいという観点から、次月のカレンダーを見ながら記載する形式をとった（記載の際には、レインボーはうす生活介護職員に見守り支援を依頼）。 この対応で問題が生じた場合は、ご本人と相談し、対応を検討していく。